

6年生 今日の算数

5月25日の課題



おはようございます。
もう、5月も最後の週ですね。



おはようございます。

先生、金曜日の問題おもしろかったですね。

おはようございます。

よかった、楽しんでもらえたんですね。





はい、なんかぼくは、
場合を数えるこの単元、ちょっと好きみたいです。
なんか、「こうやったら、〇通りでしょう・・・」って考えて
いくのが、楽しいです。



ぼくは、ちょっと苦手だなあ・・・。

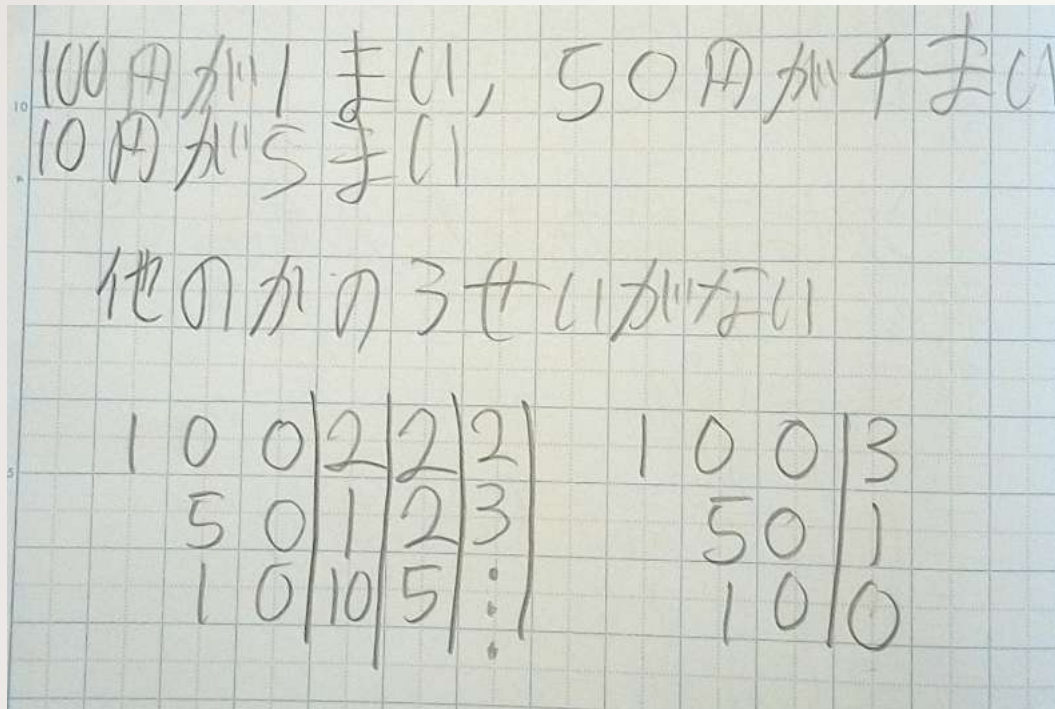
なんか、数えているうちに、わからなくなっちゃう・・・。



みんな、今回はどんなノートみつけた??



この2つをみて、「おっ！！」と思った。



ぼくは、最初

100円玉・・・1枚、

50円玉・・・4枚

10円玉・・・5枚

の組み合わせだと思っていました！！

でも、ほかのほうほうもできると気づきました。

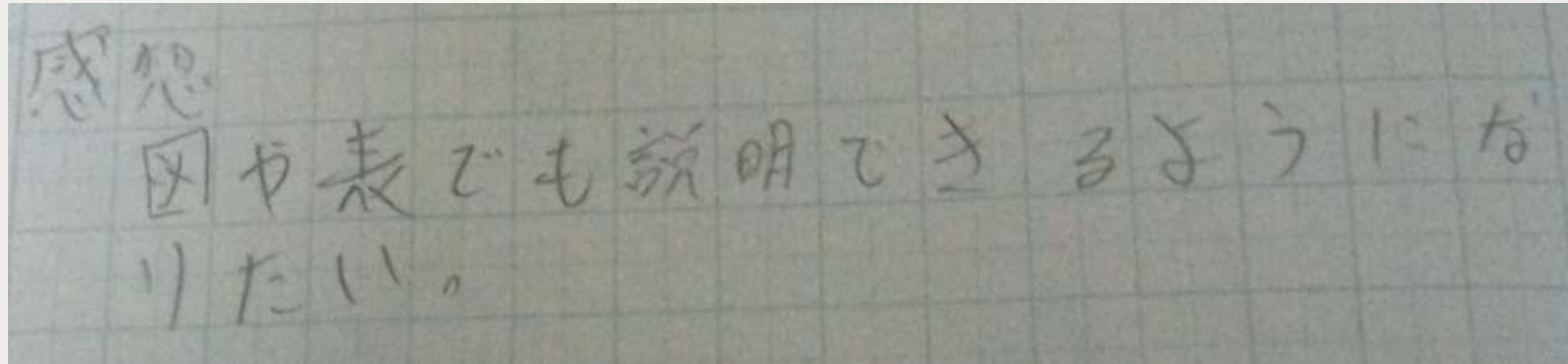
だから、答えは、

100円 x枚 50円 y枚 10円 z枚 です。

なるほど、表にしたのね！！この表、何を説明したいのか、一瞬でわかるね。



ある友だちは、こんなふう書いてた。



教室でいっしょに勉強していたら、

「ああ、そんなふうに整理できるかぁ・・・」

って、友達から学ぶチャンスだったんだなあ！



じゃあ、答えを考えてみようか。

そのために、まず、問題をふりかえっておこう。

①問題を解きましょう。

～こぜには何枚ずつあったのかな？～

350円の買い物をしたけど、お金を持っていなかった。

ああ！と思ってかばんをひっくり返したら、10枚の硬貨こうかが出てきた。

なんと、ぴったり350円分だったんだ！

出てきたのは、100円玉と50円玉と10円玉だけ。

では、それぞれ何枚だったのかわかるかな？



読み落としちゃいけないところは、ここ！！

①問題を解きましょう。

～こぜには何枚ずつあったのかな？～

350円の買い物をしたけど、お金を持っていなかった。

ああ！と思ってかばんをひっくり返したら、10枚の硬貨こうかが出てきた。

なんと、ぴったり350円分だったんだ！

出てきたのは、100円玉と50円玉と10円玉だけ。

では、それぞれ何枚だったのかわかるかな？



ほんと、この1カ所を気にしたかどうか、だよね。

そうすると、この表によれば、したの色付けしたところになる。

100円玉	1	1	1	1	1	2	2	2	3					
50円玉	1	2	3	4	5	1	2	3	4					
10円玉	20	15	10	5	0	10	5	0	0					
合計 枚数	22	18	14	10	6	13	9	5	4					



ほかは、枚数がちがうんだよね。

でも、さっきの友だちみたいに、何枚でもって考えたところから、xのような記号を考えたり、□を使ってみたりしようとするのって、いいと思うな。

100円玉	1	1	1	1	1	2	2	2	3					
50円玉	1	2	3	4	5	1	2	3	4					
10円玉	20	15	10	5	0	10	5	0	0					
合計 枚数	22	18	14	10	6	13	9	5	4					



もう、先生の出番がなくなってきちゃったわね。

先生もそう思う。

今回は答えが違ったかもしれない。でも、問題を解くときって、「いままでに学んだこと」を鍵にして、新しいことに挑戦しているの。そりゃ、ちがった鍵を使ってしまえば、解けないかもしれない。でも、「鍵を使う」という行動は同じ。



そして、その「鍵を使う」ために、「鍵を探す」「鍵を選ぶ」「鍵を見つける」ということがとっても大切。

先生は、そうやって動けている友達って、ちゃんと成長していると思っています。今回は違う鍵だったかもしれないけど、「鍵を間違えてしまった理由」を考えれば、つぎはきっと「正しい鍵」を選べると思うの。



今回の表は、実は先生からのヒントのところにありました。

☆ヒント☆

今回の学習をいかして考えましょう。

350円になる組み合わせを100円玉が1まいだった場合から考えて

いくと分かりやすいです。(下の表) 続きは自分で考えよう!

100円玉	1	1
50円玉	1	2
10円玉	20	15

あまり大きくない字だったけど、こういうことを
解き始めにメモしていた友達もいたよ。



① 100円玉は3枚必ずない(1枚か2枚だけ)
↳ ② 300円になり残りの50円は50円玉1枚か10円
玉9枚でしかできないから



そうやって、「わかっていること」から少しずつゴールに近づいていって、すてきね。

350 円になっても枚数が少なかったり、
10 枚にしても 350 円じゃなくて 250 円だったりして、
むずかしかったです。



この友達の気持ちもわかるなあ。
何回も何回もためしながら、ゴールに近づいて行った
んだろうな。



そうそう。

そりゃ、最後にたどりついた！！ってなったときに、答えが違っていたら、ガーンってなるよな。

でも、「がんばって近づいてった」ことは、いいことだよな。

だから、なんかぼく、いまやってるって、好きなんだ。

わからないなってなったときに、とにかく書いてみる事ができるでしょ。



たしかに、そう考えると、ちょっといいかも・・・。



では、今日の課題。

なんか、先生、課題を渡すだけになって
きてしまったわね。

ドリルの時は、自分の「わかってない」
を発見するチャンス！！
今日も、自分の苦手な
気付けるといいね。

①ドリル⑤、⑥をときましょう。

⑤ 何通りかだけでなく、どのように求めたのかも書きましょう。

⑥ ②、④、⑤は式と答えを書きましょう。

②まるつけをしましょう。

先週の課題でしていない人がたくさんいました。

かならず自分でまるつけましょう。



ひとりの友達が、
とってもすてきにノートをまとめてきてくれました。
今回、授業の流れのなかでは使いませんでしたが、
がんばって整理したのが伝わってきました。うれしかったです。

最後につけておきます。ちょっと長いかもしれないけど、ぜひ、読んでみてください。
ノートを書く大変さを知っている人なら、これだけ書くのにどのくらい時間がかかったか
想像できると思います。正しいかどうかもそうだけど、そういう努力が力になってほしい
って思います。

5/22 ニッセイには何枚あったのかな

350円とあるので100円を3枚あると仮設定して考えます。

計100	50	10	計100	50	10
4	3	1	0	2	3

でもそのよりにすると残りの50(350-300)は50円のところに1枚を入れるか10円のところに3枚を入れるかのどちらかしか選べません。けれども問題には100円・50円・10円が合計10枚あると書かれています。しかし100円3枚10円2枚合計4枚しか枚数になってしまいます。なので100円を3枚はなくなり

次に100円を2枚あると仮設定して考えます

計100	50	10	計100	50	10
2	2	5	2	1	10
100	50	10	100	50	10
2	3	0	2	0	15

しかし、①～④の種類でやるべきではありません。なぜなら問題には100円・50円・10円が合計10枚あると書かれていますからです。けれども①は100円・50円・10円を全て使っていきると条件は満たしていきませんが枚数が10枚という条件は満たしていきません。②は100円・50円・10円を全て使っていきると条件は満たしていきませんが枚数が10枚という条件は満たしていきません。③・④はここの条件を満たしていきません。なので100円を2枚はなくなり

最後に100円を1枚あると仮設定して考えます。

計100	50	10	計100	50	10
1	4	5	2	1	20

計100	50	10	計100	50	10
4	1	3	10	1	2

計100	50	10	計100	50	10
6	1	5	0	26	1

ここで答えが見つかりました。

- 100円 1枚
- 50円 4枚
- 10円 5枚

<感想>

今回は言葉の説明と表の両方を使って説明してみました。これにやっていく内にくんと楽しくなっていきました。学校に行けるようになってきたらみんなの考えと自分の考えを共有したいです。後、今日も授業

たいにやってみて見ました。とても楽しかったです。